

Q&A

Q. どうやって願い出るの？

A. スカラネット・パーソナルから願出できます（願出には一定の条件があります）。スカラネット・パーソナルから願出できない場合は、所定の願出用紙により郵送でご提出ください。

Q. 途中で、通常の返還に戻すことはできるの？

A. できます。所定の用紙により願い出てください。

Q. 卒業して1年以内は証明書不要ってホント？

A. 卒業翌年の6月以降に新たな所得証明書が発行されるまで、証明書の添付なしで審査可能です。

※他の条件もありますので、願い出る前に詳細を確認してください。

減額返還

Q. 返還する総額が減るの？

A. いいえ、利子を含む返還予定総額は変わりません。返還期間は適用期間に応じた分延びますが、月々の返還額を2/3、1/2、1/3 又は1/4 にできます。

Q. いつまでできるの？

A. 最長15年(180か月)です。
ただし、1年ごとに願い出る必要があります。

返還期限猶予

Q. 利子がついて返還する総額は増えるの？

A. いいえ、利子を含む返還予定総額は変わりません。

Q. どれくらいの期間延ばせるの？

A. 最長10年(120か月)です。
病気・生活保護受給中など一部の事由は、その状態が継続している期間となります。
ただし、1年ごとに願い出る必要があります。

<経済困難事由>収入等の基準

減額返還

		あなたが扶養している子供の人数	
		2人	3人以上
給与所得の方 (年間収入金額)	400万円以下	500万円以下	600万円以下
給与所得以外の 所得のある方 (年間所得金額)	300万円以下	400万円以下	500万円以下

返還期限猶予

給与所得の方 (年間収入金額)	300万円以下
給与所得以外の 所得のある方 (年間所得金額)	200万円以下

※基準を超えていても、被扶養者がいる、親への援助がある場合などは一定額を控除して収入基準以下になれば願出が可能です。

スカラネット・パーソナルによる願出



<https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/>

郵送による願出

〒119-0385 ※専用郵便番号のため住所の記載は不要です。
独立行政法人 日本学生支援機構 猶予減額受付窓口

日本学生支援機構ホームページ

「返還が難しくなった場合」



https://www.jasso.go.jp/shogakukin/henkan_konnan

奨学金相談センター

ナビダイヤル 0570-666-301

9:00~20:00 月曜~金曜(祝日年末年始除く)

困ったら、まず相談

JASSOの制度
減額返還・返還期限猶予

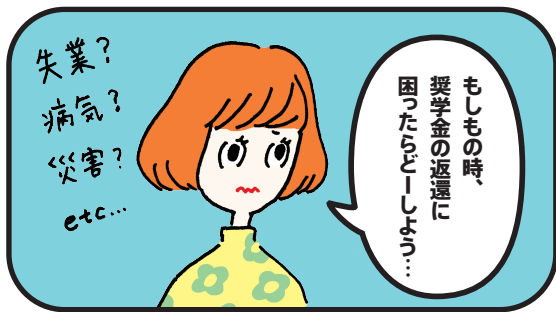
スカラネット・パーソナルでの
手続きが便利です



独立行政法人

日本学生支援機構

JASSO Japan Student Services Organization



減額返還・返還期限猶予制度の目的

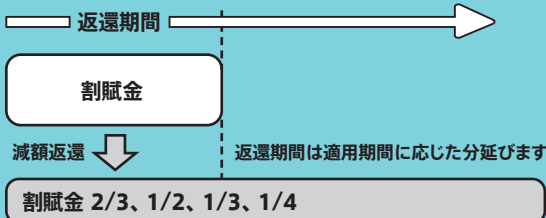
経済困難・失業・病気・災害などで月々の返還が困難になった場合でも、延滞することなく計画的に返還できるようにするための制度です。

ライフイベントに応じて利用可能!

減額返還制度とは

月々の返還金額を3分の2、2分の1、3分の1、4分の1に減らすことができます。

- ・ 利子を含む返還予定総額はいずれも変わりません。
- ・ 1年ごとの願出で、最長15年です。
- ◆ 延滞すると審査できません。延滞する前に願出しましょう。



※「所得連動返還方式」を選択した第一種奨学金や授業料後払い制度には利用できません。

※「減額返還」「返還期限猶予」どちらも審査があり、承認を受ける必要があります。また、毎年手続きが必要です。



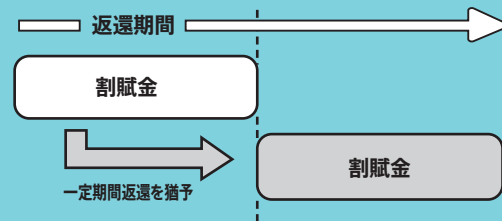
返還期限猶予制度とは

月々の返還を先に延ばすことができます。

- ・ 先に延ばした分、返還完了までの期間が延長されます。
- ・ 利子を含む返還予定総額は変わりません。
- ・ 1年ごとの願出で、最長10年です。

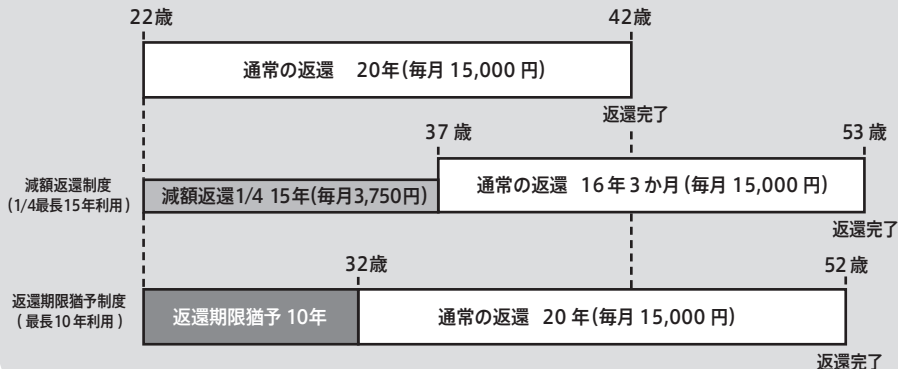
(ただし、病気、猶予年限特例など一部の対象者は、一定の条件に該当する期間、猶予できます)

◆ 減額返還でも困難になった時、突発的事情で返還できない場合は、無理せず早めに願出しましょう。



制度を利用した場合の返還比較例

(月々の返還金額が15,000円、22歳から返還を開始して、20年間で返還を終える約束だった場合)



将来の返還負担を少しでも減らしたいから、減額返還を利用しようかしら

